

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	たにやま たんぼぼ		
○保護者評価実施期間	令和8年1月9日		～ 令和8年1月16日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24	(回答者数) 21
○従業者評価実施期間	令和8年1月9日		～ 令和8年1月16日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月5日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	併行利用している園との連携。	同法人の幼稚園・保育園を利用している利用児が多い為、月に一回の学年会に参加をしたり学期ごとに状態の共有をしたりしている。	各施設を訪問する事で、利用児の各施設での状態をより共有できるようにする。
2	就学後を意識した指導を行っている。	就学後に必要な知識や技術、所作の獲得を行っている。	早期療育を行いながら、利用児の特性を理解し、獲得に時間を要しそうな内容は早めに支援を開始する。
3	個別指導を中心に指導を行っている。	現状必要なことだけでなく、今後社会生活を送る上で必要な事を獲得していけるようにしている。	個別指導で丁寧に指導しながら小集団での指導と合わせ、獲得した知識や技術、所作を表現できる場所を増やす。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	非常災害時に備え、定期的に避難訓練を行っているが、訓練の有無についての周知が十分でなかった。	定期的に避難訓練等を行っているが、個別指導を主としている為、面談で個別にお伝えしていた。利用児が日ごとに異なる為、全体に周知できていなかった。	これまでのように面談で個別に伝える事に加えて、避難訓練実施後に、実施日や訓練の内容、子ども達の様子等について書面でも周知を行う。
2	SNSやホームページ等活動内容等の発信を行っていない。	個別指導を主に行っている為、各々で活動内容が異なる事や、同法人の子ども園との併行利用児が多いことにより個人情報の取り扱いの観点から行っていない。	必要に応じて検討する。
3	保護者会やペアレントトレーニングの研修会等を行っていない。	同法人に子ども園があり、概ね利用児が併行利用している為保護者会が重複してしまう。	保護者と協議しながら、事業所での保護者会が必要かどうか検討し、希望があれば行っていく。 ペアレントトレーニングは、個々で支援内容が変わる為研修会等ではなく個別で対応していく。